



令和 6 年度 新技術・新工法説明会

新技術情報提供システム (NETIS) の活用状況等について

九州地方整備局



新技術活用に関する相談窓口

申請・相談窓口一覧

九州地方整備局では、NETISに関する窓口

道路、河川、公園などに関する技術については
九州技術事務所

港湾及び空港に関する技術については
下関港湾空港技術調査事務所

九州地方整備局

九州技術事務所 技術活用・人材育成課

0942-32-8245

〒830-0002 福岡県久留米市高野1-3-1

下関港湾空港技術調査事務所 技術開発課

083-224-4130

〒750-0025 山口県下関市竹崎町4丁目6-1

NETISの技術の登録、様々なNETISに関する相談、NETISに登録された技術の評価および活用促進に向けたサポートなどを行っています。

本日の内容

- 1.新技術活用スキームの概要
- 2.NETIS技術の活用状況
- 3.直轄工事で活用するにあたって
- 4.活用促進に向けた取り組み

本日の内容

1.新技術活用スキームの概要

2.NETIS技術の活用状況

3.直轄工事で活用するにあたって

4.活用促進に向けた取り組み

- 公共工事等における新技術の活用検討事務の効率化や活用リスクの軽減等を図り、有用な新技術の積極的な活用を推進するための仕組み

これまで

R6.4から

新技術活用システム ⇒ 新技術活用スキーム

- 新技術活用スキームの中核となるのが、新技術に関する情報収集・提供を図る手段として整備したデータベース

新技術情報提供システム NETIS

(New Technology Information System)

➤ 公共工事における**新技術**とは

公共工事の課題である、コスト・工程の縮減や、品質・安全の確保、環境の保全などを解決するための優れた技術

➤ 公共工事に関する**優れた技術**は

公共工事等の品質の確保に貢献し、良質な社会資本の整備を通じて

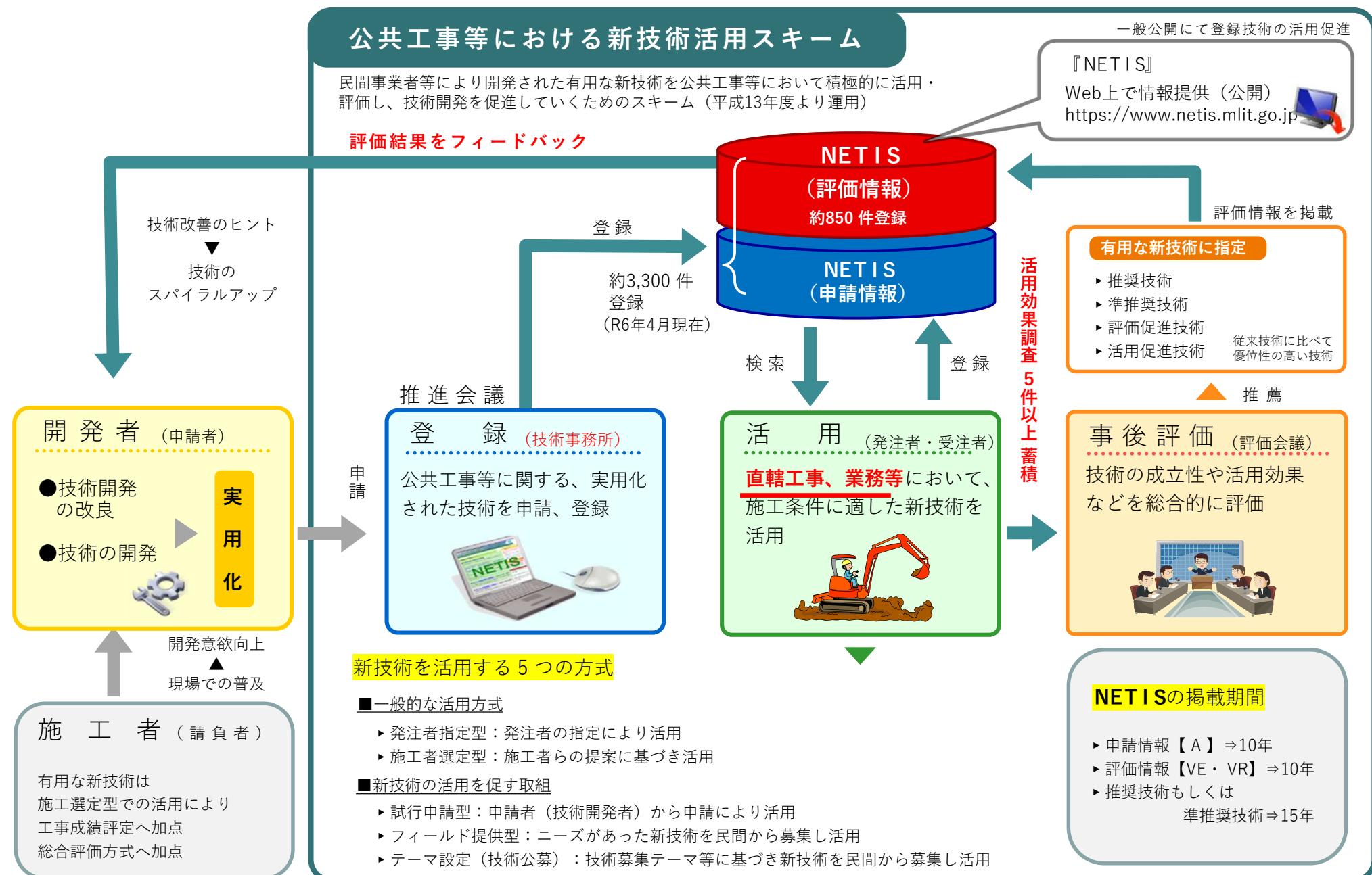
- ・豊かな国民生活の実現およびその安全の確保
- ・環境の保全と良好な環境の創出

➤ 優れた技術を持続的に創出していくためには

民間事業者等により開発された有用な新技術を公共工事等において

積極的に活用していくことが重要です。

➤ この目的を達成する**仕組み**が「**新技術活用スキーム**」



- ▶ 公共工事等に関する優れた技術は、良質な社会資本整備の促進に寄与します。
- ▶ 新技術の活用によって、発注者、施工者、開発者に以下の効果が期待されます。

発
注
者

コスト縮減を踏まえた
工事発注、調査設計業務発注

事業のスピードアップ

適切な品質確保

維持管理の効率化など

施工者

工事効率化等による工期短縮

適切な管理による品質確保

省エネルギー、省資源化

総合評価方式、工事成績評定
の加点対象など

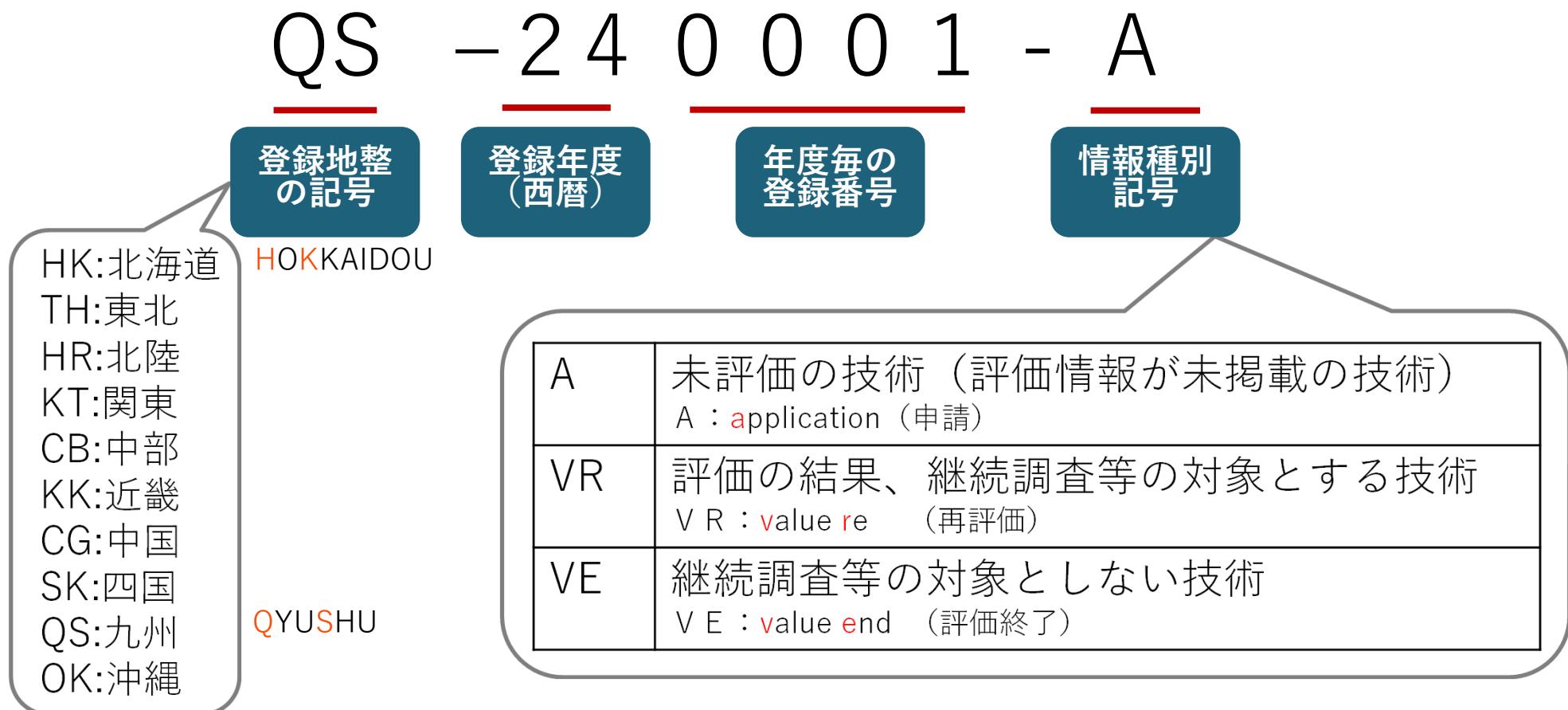
開
発
者

開発技術の活用・評価

工事における活用機会増加

技術開発のスパイラルアップなど

- NETIS掲載技術は、登録番号によって管理されています。どのエリアでどの時期に登録された技術なのか、その技術がどの状況にあるのかがわかります。
- 登録当初は全て「A」であり、活用した実績により事後評価を行い、その結果によって「VR」「VE」となります。



3桁目に「K」がついているものは、「港湾NETIS」の登録技術 例：QSK、KTK

➤ NETISに登録された新技術は、5つの活用方式により活用され、特に活用の多い「活用の型」は、『発注者指定型』と『施工者選定型』

他に新技術の活用を促す取組として

- ・試行申請型：申請者（技術開発者）から申請により活用
- ・フィールド提供型：ニーズがあった新技術を民間から募集し活用
- ・テーマ設定（技術公募）：技術募集テーマ等に基づき新技術を民間から公募し活用

発注者指定型

現場ニーズ等により、必要となる新技術を設計段階で検討し**発注者が指定**して活用するタイプ

【例】

- ・地盤改良工
- ・ボックスカルバート工
- ・グランドアンカーエ
- ・河川護岸工
- ・橋梁耐震補強工
- ・機械設備
- ・橋梁補修補強工など

施工者選定型

施工者（受注者）からの提案に基づき、工事内容に適した新技術を選定して活用するタイプ

【例】

- ・UAV等による3次元測量
- ・仮設ハウス
- ・仮設トイレ
- ・情報共有システム
- ・ICT建設機械
- ・安全灯、照明灯
- ・工事看板
- ・コンクリートの品質向上技術など

本日の内容

1.新技術活用スキームの概要

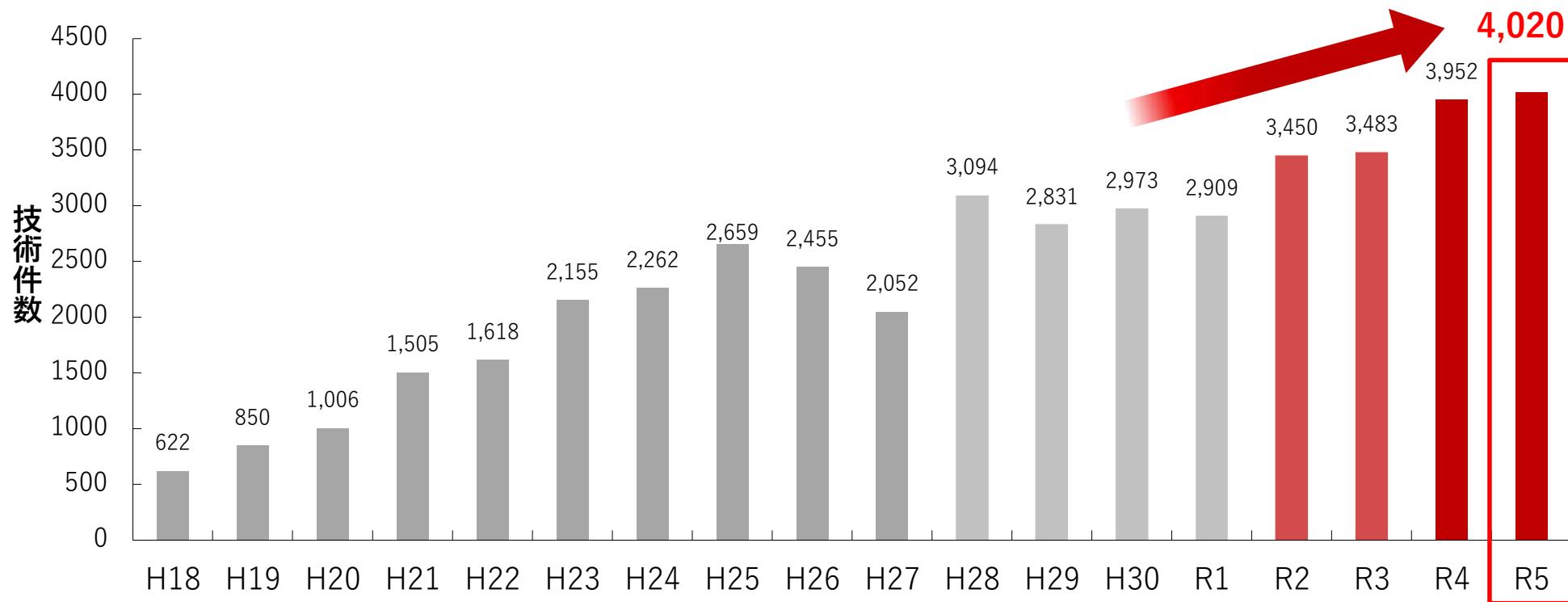
2.NETIS技術の活用状況

3.直轄工事で活用するにあたって

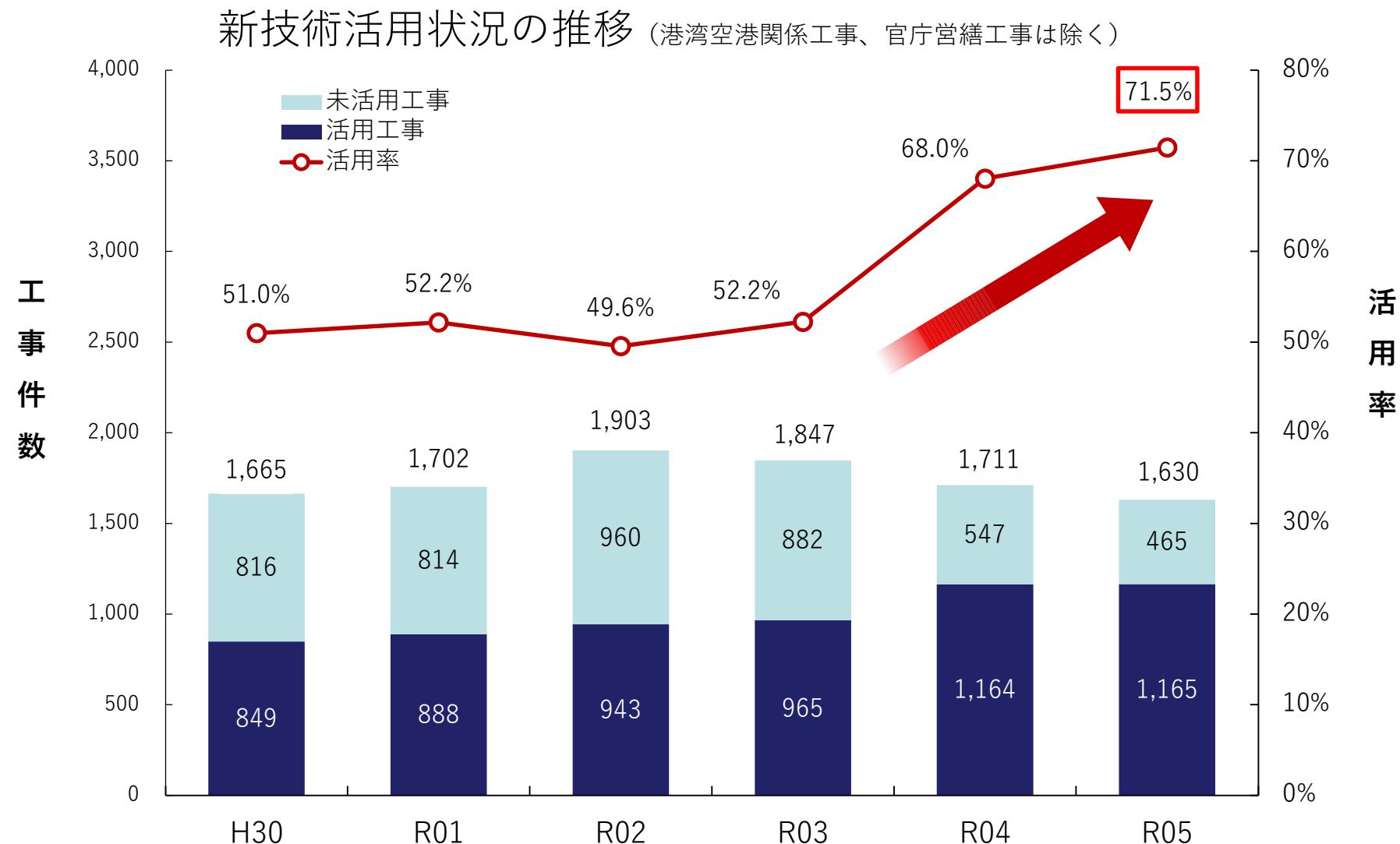
4.活用促進に向けた取り組み

- ▶ 九州地方整備局管内の新技術活用技術数は毎年増加
- ▶ 令和 5 年度の活用技術は4000件を突破

新技術活用状況（年度別・技術件数）※港湾空港関係工事、官庁営繕工事は除く

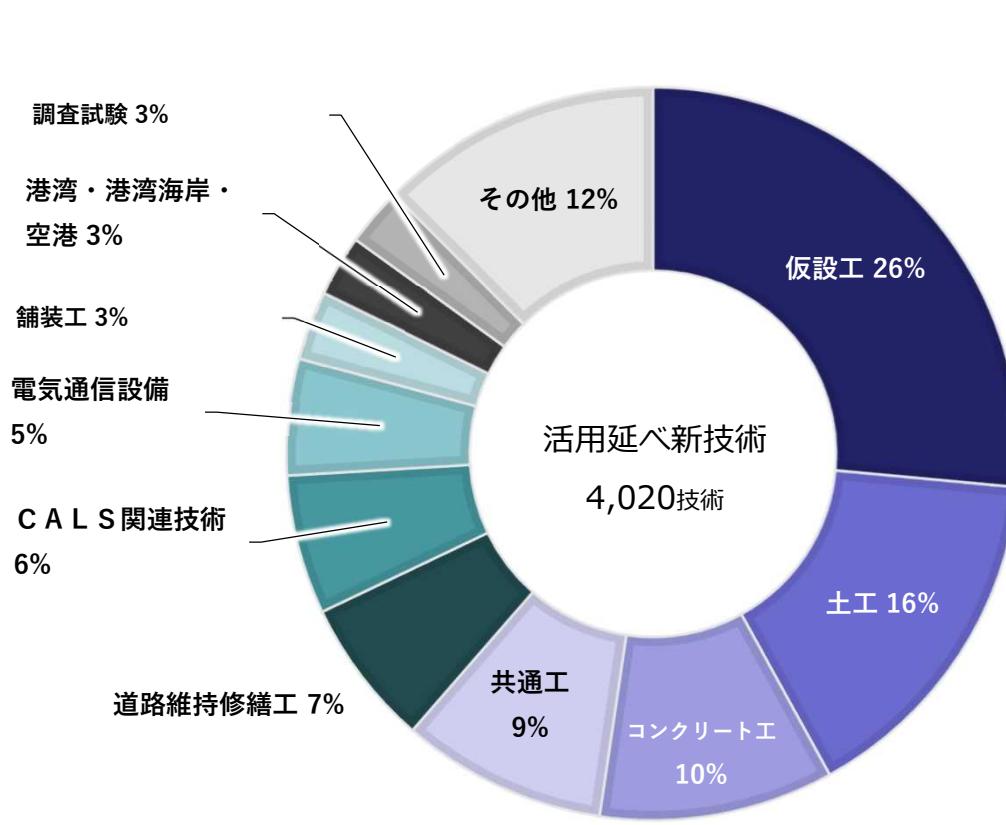


- ▶ 九州地方整備局管内の活用率は毎年増加 ※活用率（活用工事件数/総工事件数）
- ▶ R5年度の活用率は約72%（継続工事含む） ※完了工事のみ約87%



➤ 傾向は例年とほぼ同様、工種ランキング上位5工種（※営繕・港湾空港工事を含まない）

工種	種類
仮設工	仮設ハウス、仮設トイレ、保安用品
土工	出来形計測システム、バックホウ（ICT、低燃費等）
コンクリート工	鉄筋防錆剤、打設面養生材
共通工	情報化施工（建機コントロール・ガイダンス、遠隔臨場システム）
道路維持修繕工	路面補修技術、保安用品、除草技術



順位	工種ランキング	活用件数		
		R5	R4	R3
1	仮設工	1,064	943	756
2	土工	624	790	713
3	コンクリート工	416	388	491
4	共通工	364	365	297
5	道路維持修繕工	262	241	190
6	CALS関連技術	247	141	192
7	電気通信設備	207	170	130
8	舗装工	122	162	126
9	港湾・港湾海岸・空港	110	99	70
10	調査試験	103	119	116
—	その他	501	534	402
	合計	4,020	3,952	3,483

本日の内容

1.新技術活用スキームの概要

2.NETIS技術の活用状況

3.直轄工事で活用するにあたって

4.活用促進に向けた取り組み

- 国土交通省では、建設現場におけるイノベーションの推進や生産性向上を図るため、新技術・新工法・新材料の導入・利活用を加速化に取り組んでおり、更なる活用促進のために、**直轄土木工事（港湾空港関係工事、官庁営繕工事は除く）**において**新技術活用を原則義務化**しています。



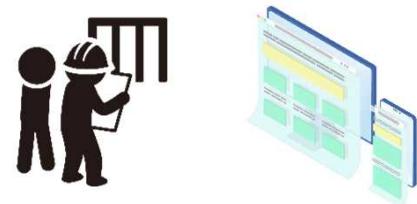
特記仕様書への記載例

第〇条 新技術の活用「施工者選定型」

1. 本工事は、施工者が**原則 1 技術以上の新技術を選定**したうえで活用を図る新技術活用工事である。

ただし、発注者指定型または、発注者指定型（選択肢提示型）により新技術を活用する工事の場合、この限りではない。

- 国土交通省の直轄工事を実施するにあたり、特記仕様書においてNETIS登録の技術を活用した場合は、**活用効果調査表等をシステムに登録するよう規定されています。**



特記仕様書への記載例

第〇条 新技術の活用

3. 受注者は、新技術を活用する場合、以下の内容を新技術情報提供システム（NETIS）に登録しなければならない。

- 1) 新技術活用計画書・実施報告書
- 2) 活用効果調査表

ただし、継続調査が不要と判断された技術（NETIS登録番号の末尾が「-VE」とされている技術）は実施報告書及び活用効果調査表の登録は要しない。

※末尾記号がVEの技術については、新技術計画書のみを登録

- 業務共通仕様書に新技術活用について明記されており、新技術やNETIS掲載終了技術を比較検討するよう規定されています。



土木設計業務等共通仕様書 抜粋

第1209条 第12項

受注者は、概略設計又は予備設計における比較案の提案、評価及び検討をする場合には、従来技術に加えて、新技術情報提供システム（NETIS）等を利用し、有用な新技術・新工法を積極的に活用するための検討を行うものとする。なお、従来技術の検討においては、NETIS掲載期間終了技術についても、技術の優位性や活用状況を考慮して検討の対象に含めることとする。

また、受注者は、詳細設計における工法等の選定においては、従来技術（NETIS掲載期間終了技術を含む）に加えて、新技術情報提供システム（NETIS）等を利用し、有用な新技術・新工法を積極的に活用するための検討を行い、調査職員と協議のうえ、採用する工法等を決定した後に設計を行うものとする。

- 業務（調査・測量等）において、新技術を活用した場合も、調査表等の登録が必要



業務（調査・測量等）において新技術を活用する場合

測量業務共通仕様書第 141条 新技術の活用について

地質・土質調査業共通仕様書第 141条 新技術の活用について

土木設計業務等共通仕様書第 1140条 新技術の活用について

活用前 : 新技術活用計画書

活用後 : 実施報告書・活用効果調査表

登録が必要です

(※ただし、「-VE」技術については、新技術活用計画書の登録のみ)

- 総合評価落札方式で新技術の提案により加点の対象になることがある。
- 新技術を施工者選定型で活用し活用の効果が確認できた場合、工事成績評定で加点されます。

総合評価方式における入札契約手続き（オプション項目）

NETIS登録の新技術の活用等を行う提案



加点の対象

工事成績評定

施工者選定型でNETIS登録された新技術を活用し、
活用の効果が確認できた場合



工事成績評定で加点

The screenshot shows the NETIS homepage. At the top, there is a navigation bar with links for '新技術の検索', '登録申請/変更・更新 /事前相談', '活用効果調査表 /活用計画書', 'テーマ設定型 の比較表', 'マッチング', '維持管理技術 ページ', '震災復旧・復興 支援技術ページ', 'NETIS活用状況 データベース', and 'マニュアル /FAQ'. Below the navigation bar, there is a search section titled '新技术を探す' with fields for '検索キーワード' and dropdown menus for '工種' and '工程分類一覧'. There is also a section for '有用な新技術の選択' with checkboxes for various technology types. A red box highlights the 'What's NEW' section, which lists recent news items from September 2024. To the right of the main search area, there are sections for '記者発表資料等', 'CO₂削減関連技術', and 'NETISとは'.

What's NEW

- 2024年09月03日 国土交通大臣表彰制度の受賞技術を活用促進技術に選定～活用促進技術を新たに26技術選定～
- 2024年08月30日 NETIS申請者作成パンフレット等への掲載終了時期等表示義務に関する通知について
- 2024年08月30日 NETIS申請者作成パンフレット等への情報種別記号記載義務に関する通知について

記者発表資料等

- 2024年08月26日 国土交通大臣表彰技術を推薦技術に選定～令和6年度推薦技術を新たに11技術選定～
- 2024年07月11日 「土木構造用塗膜剥離剤技術」の追加技術選定結果について～新技術活用スキームにおけるテーマ設定型（技術公募）の取り…
- 2024年07月11日 「補強土壁工法の点検支援にかかる新技術」に求める性能について意見募集を行います～現場ニーズ・行政ニーズに基づいた新…

CO₂削減関連技術

脱炭素社会実現に向けたCO₂削減に関連する技術は [こちら](#)

NETISとは

NETISとは（紹介動画）※音声が流れます
公共工事等における新技術活用システム（パンフレット）

NETIS（新技術情報提供システム）利用上の注意事項

- NETIS掲載情報は、当該技術に関する証明、認証その他何ら技術の裏付けを行うものではなく、新技術活用に当たっての参考情報といった性格のものであること。
- 特に、申請情報は、技術開発者からの申請に基づく情報であり、その内容について、国土交通省及び評価会議（整備局等）が評価等を行っているものではないこと。また、申請情報のNETIS掲載に伴う苦情、紛争等への対応は、NETIS申請者が行うものであり、国土交通省はどちらの責任も有しないこと。
- 評価情報は、当該技術の活用等を行った結果に基づき評価を行ったものであり、個々の現場の条件その他により評価は変わりうる等の性格を有すること。
- 新技術の活用は、現場毎の条件の適合性等による判断に応じて設計・工事担当部署がそれぞれ行うものであり、評価結果に基づき当該技術の活用等の実施が保証されるといった性格のものではないこと。
- 特許権等知的財産権については、関係法令に基づき取り扱われるものであること。

HPでは利用上の注意事項が掲載されています

➤ NETIS（新技術情報提供システム）利用時の注意事項

1. NETIS掲載情報は、当該技術に関する証明、認証その他何ら技術の裏付けを行うものではなく、新技術活用に当たっての参考情報といった性格のものであること。
2. 特に、申請情報は、技術開発者からの申請に基づく情報であり、その内容について、国土交通省及び評価会議（整備局等）が評価等を行っているものではないこと。また、申請情報のNETIS掲載に伴う苦情、紛争等への対応は、NETIS申請者が行うものであり、国土交通省は何らの責任も有しないこと。
3. 評価情報は、当該技術の活用等を行った結果に基づき評価を行ったものであり、個々の現場の条件その他により評価は変わりうる等の性格を有するものであること。
4. 新技術の活用は、現場毎の条件の適合性等による判断に応じて設計・工事担当部署がそれぞれ行うものであり、評価結果に基づき当該技術の活用等の実施が保証されるといった性格のものではないこと。
5. 特許権等知的財産権については、関係法令に基づき取り扱われるものであること。

**NETIS 新技術情報提供システム
NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM**

新技術の検索 登録申請/変更・更新 /事前相談 活用効果調査表 /活用計画書 テーマ設定型 の比較表 マッチング 維持管理技術 ページ 震災復旧・復興 支援技術ページ NETIS活用状況 データベース マニュアル /FAQ

新技术を探す

検索キーワード 工種別頻出キーワード一覧

検索キーワード or 検索キーワード or 検索キーワード
▼キーワード検索条件を追加

工種 工種分類一覧

▼工種検索条件を追加 工程検索条件: () and () or

有用な新技術の選択 説明

推奨技術 準推奨技術 評価促進技術 活用促進技術

旧実施要領での技術の位置付け 説明

活用促進技術 (旧) 設計比較対象技術 少実績優良技術

新技術に期待する効果で更に絞り込む 説明

経済性の向上 工程の短縮 品質の向上 安全性の向上 施工性の向上 周辺環境への影響抑制

この条件で検索 ▼他の条件を表示

※チェックボックス条件は、1つも選ばないと該込なし（全文）になります。

申請されている従来技術名の検索
試行現場照会一覧
過去に選定された推奨技術・準推奨技術の一覧

NETISとは

NETISとは（紹介動画）※音声が流れます
公共工事等における新技術活用システム（パンフレット）

NETIS（新技術情報提供システム）利用上の注意事項

1. NETIS掲載情報は、当該技術に関する証明、認証その他何ら技術の裏付けを行うものではなく、新技術活用に当たっての参考情報といった性格のものであること。
2. 特に、申請情報は、技術開発者からの申請に基づく情報であり、その内容について、国土交通省及び評価会議（整備局等）が評価等を行っているものではないこと。また、申請情報のNETIS掲載に伴う苦情、紛争等への対応は、NETIS申請者が行うものであり、国土交通省は何らの責任も有しないこと。
3. 評価情報は、当該技術の活用等を行った結果に基づき評価を行ったものであり、個々の現場の条件その他により評価は変わりうる等の性格を有すること。
4. 新技術の活用は、現場毎の条件の適合性等による判断に応じて設計・工事担当部署がそれぞれ行うものであり、評価結果に基づき当該技術の活用等の実施が保証されるといった性格のものではないこと。
5. 特許権等知的財産権については、関係法令に基づき取り扱われるものであること。

What's NEW

2024年09月03日 国土交通大臣表彰制度の受賞技術を活用促進技術に選定～活用促進技術を新たに26技術選定～
2024年08月30日 NETIS申請者作成パンフレット等への掲載終了時期等表示義務に関する通知について
2024年08月30日 NETIS申請者作成パンフレット等への情報種別記号記載義務に関する通知について

記者発表資料等

2024年08月26日 国土交通大臣表彰技術を推薦技術に選定～令和6年度推薦技術を新たに11技術選定～
2024年07月11日 「土木構造用塗膜剥離剤技術」の追加技術選定結果について～新技術活用スキームにおけるテーマ設定型（技術公募）の取り…
2024年07月11日 「補強土壁工法の点検支援にかかる新技術」に求める性能について意見募集を行います～現場ニーズ・行政ニーズに基づいた新…

CO₂削減関連技術

脱炭素社会実現に向けたCO₂削減に関する技術は [こちら](#)

NETISとは

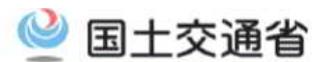
NETISとは（紹介動画）※音声が流れます
公共工事等における新技術活用システム（パンフレット）

NETIS（新技術情報提供システム）利用上の注意事項

1. NETIS掲載情報は、当該技術に関する証明、認証その他何ら技術の裏付けを行うものではなく、新技術活用に当たっての参考情報といった性格のものであること。
2. 特に、申請情報は、技術開発者からの申請に基づく情報であり、その内容について、国土交通省及び評価会議（整備局等）が評価等を行っているものではないこと。また、申請情報のNETIS掲載に伴う苦情、紛争等への対応は、NETIS申請者が行うものであり、国土交通省は何らの責任も有しないこと。
3. 評価情報は、当該技術の活用等を行った結果に基づき評価を行ったものであり、個々の現場の条件その他により評価は変わりうる等の性格を有すること。
4. 新技術の活用は、現場毎の条件の適合性等による判断に応じて設計・工事担当部署がそれぞれ行うものであり、評価結果に基づき当該技術の活用等の実施が保証されるといった性格のものではないこと。
5. 特許権等知的財産権については、関係法令に基づき取り扱われるものであること。

NETIS申請者作成パンフレット等に関する通知

NETIS申請者作成パンフレット等へのNETIS掲載終了表示義務について



- NETIS掲載期間が終了している技術に関して、掲載時のNETIS登録番号がパンフレット等に記載されているため、NETIS掲載終了技術がNETIS登録中であるといった誤解を生んでいる事例が見受けられます。
- このため、現在NETIS掲載を終了している技術で、NETIS掲載時のNETIS登録番号をパンフレットやホームページ等に記載する際には、登録番号に加えて、必ずNETISの掲載を終了している旨を併記して下さい。

【記載例】

NETIS登録番号 : KT-120000-VE (2024年3月NETIS掲載終了)

NETIS登録番号 : KT-120000-VE (現在はNETIS掲載を終了しております)

パンフレット、ホームページ等にNETIS掲載終了技術のNETIS登録番号を記載されている場合は、2025年度末までを目途に、上記対応へのご協力をお願いします。

NETIS申請者作成パンフレット等へのNETIS登録番号情報種別記号表示義務について 国土交通省

- 事後評価未実施のNETIS登録技術に関して、末尾の情報種別記号が記載されていないNETIS登録番号がパンフレット等に掲載されているため、事後評価未実施の技術が事後評価実施済みの技術であると誤解を生んでいる事例が見受けられます。
- このため、NETIS登録技術について、パンフレットやホームページ等にNETIS登録番号を掲載する際には、NETIS登録番号の末尾に、必ず情報種別記号（「-A」等）※を記載して下さい。

※NETIS掲載情報の位置付けを示す以下の情報種別記号

- A: 事後評価の結果が掲載されていない技術
- VR: 事後評価の結果、継続調査等の対象となった技術
- VE: 事後評価の結果、継続調査等の対象としない技術

【記載例】

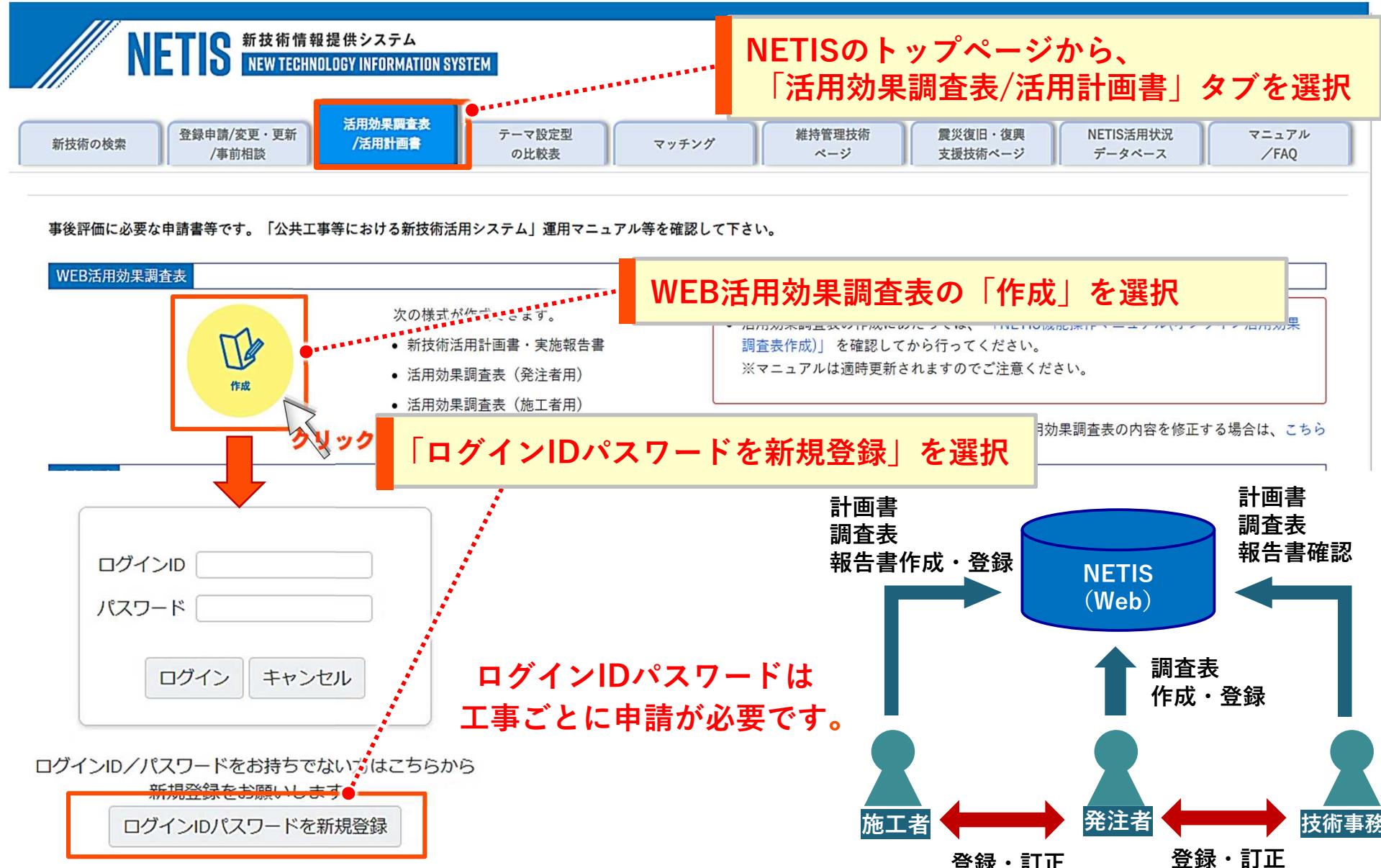
NETIS登録番号 : KT-200000-A

必ず情報種別記号を記載して下さい

※事後評価が実施され、情報種別記号が「-VR」、「-VE」へ変更された技術について、パンフレット、ホームページ等に情報種別記号が「-A」のまま記載されていますが、必ずしも修正する必要はございません。

パンフレット、ホームページ等にNETIS登録番号を掲載されている場合は、2025年度末までを目途に、上記対応へのご協力をお願いします。

➤ 新技術活用効果調査表等はNETISのシステムから作成します



- ▶ 活用効果調査表は、「新技術活用計画書」、「実施報告書」、「活用効果調査表（発注者用、施工者用）」で構成されています。
- ▶ 新技術活用前に「計画書」、活用後に「実施報告書」、「活用効果調査表」を作成してください。

新技術活用前（VE A VR）

■新技術活用計画書

※システム画面は、一部簡略化しています。

計画書

(新技術活用理由等)

現場で 新技術活用

実施報告書

(施工概要等)

新技術活用後（A VR）

■実施報告書

■活用効果調査表

タブ切替

活用効果調査表（発注者用）

活用効果調査表（施工者用）

(従来技術と比較し、活用の効果を評価)

- 新技術活用計画書は、活用する全ての新技術において、作成が必要です。
新技術活用決定後、速やかに作成し、必ず活用前までに登録してください。
- 実施報告書・活用効果調査表は新技術を活用後、速やかに作成し登録してください。
「-VE」技術は、「実施報告書」「調査表」の作成が不要です。

情報種別記号	計画書	報告書	調査表
「-A」「-VR」	登録	登録	登録
「-VE」	登録	不要	不要

■活用が中止になった場合は九州技術事務所へ報告してください！

E-mail : qsr-kyugi-netis@ki.mlit.go.jp

本日の内容

- 1.新技術活用スキームの概要
- 2.NETIS技術の活用状況
- 3.直轄工事で活用するにあたって
- 4.活用促進に向けた取り組み

- 九州地方整備局では、新技術の活用促進を目的に発注者・受注者向けに新技術に関する説明会の開催しています。
- 新技術開発者へのNETIS登録相談窓口、広報活動にも取り組んでいます。

【新技術NETIS活用支援】

新技術・新工法説明会

毎年九州7県で新技術の説明会を開催



新技術説明会

毎年発注者・受注者向けWEB説明会を開催 数回/年



NETIS登録・申請等 開発者からの相談、NETIS登録の受付、審査、指導、広報活動としてNETISパンフレット、HPやSNSによる登録の発信、新技術相談を行っています

【技術開発相談窓口・広報】

NETIS登録・申請等

開発者からの相談、NETIS登録の受付、審査、指導など



広報活動

NETISパンフレット、HPやSNSによる登録の発信、新技術相談



- 国土交通省発注の業務・工事向けの支援として工法比較表データベースを構築
- 発注事務所からのニーズの多かった4工種 15工法を対象にデータベース作成
- NETIS等からの工法比較の一次選定時の工法抽出をサポート、効率的な工法比較検討を支援

①コンクリート
構造物補修工
5工法 138技術

表面含浸工法
断面修復工法
ひび割れ補修工法
表面被覆工法
電気防食工法

②軟弱地盤処理工
5工法 100技術

機械搅拌工法
高压噴射搅拌工法
表層混合処理工法
薬液注入工法
残土処理工法

③道路舗装工
2工法 36技術

アスファルト舗装工法
舗装版ひび割れ補修工法

④擁壁・法面工
3工法 38技術

補強土擁壁工法
大型ブロック積工法
落石防止網設置工法

➤ 工法比較表データベースは九州技術事務所ホームページより利用の申請ができます。



九州技術事務所のホームページ 新技術情報／NETIS



九州技術事務所のホームページ新技術情報／NETISから 工法比較表データベースをクリック

【工法比較表データベース】をクリックすると、
【工法比較表データベース借用申請書】の画面が表示されます。

申請受理後は、マニュアルとデータベース（エクセル）がダウンロードできるURLが通知されますのでダウンロードして利用ができます。

データの**公開期限は1ヶ月**ですので期限が過ぎた場合は、再度申請等が必要になります。
直轄の業務、工事を受注された場合はご活用ください。

➤ 九州技術事務所HPの「新技術情報/NETIS」に新技術に関する情報を掲載しています。

九州技術事務所
(九州防災・火山技術センター)

HOME 防災技術 建設技術 人材育成

建設技術

防災技術

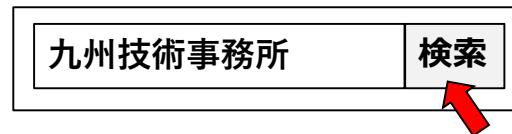
人材育成

記者発表

- [2020/12/14] 新技術モデル施工（防草対策）
CLICK [11/13] 『ICT活用』及び『遠隔操作』講習会を開催します！
- [2020/10/19] 研修用河川堤防実モデル完成、職員研修開始
- [2020/08/07] 令和2年度 国土交通省行政功労事務所長表彰対象者について（決定）

お知らせ

- [2021/02/05] 『（ウィズコロナ）令和2年度「ICT活用」及び「遠隔操作」講習会』の開催状況動画をYouTubeにアップしました
- [2021/02/05] 九州技術事務所HP（トップ画面）



活用効果調査表の記入方法や工法比較検討に関する情報など、いろいろな情報が掲載されています。

九州技術事務所
(九州防災・火山技術センター)

HOME 防災技術 建設技術 人材育成 DX

新技術情報/NETIS (新技術ポータルサイト)

新技術情報/NETIS (新技術ポータルサイト)

- お知らせ
- 基本事項 (NETISシステム・実施要領 etc.)
- お役立ち情報室
- 九州で登録した新技術
- 工法比較表データベース
- 新技術・新工法説明会
- NETIS登録のICT関連技術一覧
- モデル施工（除草技術）の実施
- 活用（活用計画書・報告書および活用効果調査表）
- NETISへの登録申請（申請様式etc.）
- 技術開発用窓口のご案内
- 技術開発・調査
- 産学官の連携
- 地域連携・支援

新技術に関する疑問や問題が発生した場合は、九州技術事務所ホームページの新技術ポータルサイトを活用してください。

➤ 新技術情報提供システム（NETIS）に登録された新技術について、活用を促進するため、発注者、設計者、施工者、開発者に向けて情報発信